

HACHIMAN
Kawara-ban
HONOBONO-Tsushin

八幡

通信

八幡堀界隈

瓦 かわら 版

2018 Vol.35

知って得して、見て得して、町の歴史

手漕ぎ和舟

ご予約は
0748-36-5115

情緒ある手漕ぎ和舟でゆったり
船頭がご案内する八幡堀めぐり

八幡堀と町衆の430年の道のり

室町時代の応永三十年(1423) 高木姓を有する大工として滋賀県蒲生郡安土町奥石神社社蔵神輿の天井裏銘文に「安土慈恩寺村 高木金四郎実名直□」とあり、同氏はのち豊臣秀次による八幡築城にもなつて近江八幡に移住し、高木作右衛門であると蒲生郡史及び近江新報(大正6年)は伝えてくま。当時領主は工匠の保護に力を注いでいた。ことに戦国から近世初頭にかけて、その傾向は強く見られ、近江八幡においても豊臣秀次、京極高次、徳川氏等の政策に見ることができま。秀次の定めた八幡山下町の十三の掟書きの第十二条には「於町並居住之輩者 雖為奉公人并諸職人家並之役儀免除之事 付、加扶持召遣諸職人等各別事」(町並み居住の輩に於いて、奉公人並びに諸職人、家並の役儀免除の事。付、扶持を加え、召遣諸職人等各々の事。)とあり、諸職人を優遇し工匠の待遇を良くしたことが分かります。後の徳川幕府も前例に倣い、これらの工匠から雑税を免除しました。京都大工頭、中井五郎助は代官の命を受け、近江大工頭、八幡高木作右衛門に対し近江国内の大工が所有する田畑石高を調査させていますが、諸役免除を施工するための台帳を作成する必要からだと考えられます。また、中世的な遺風をそのままに伝えて、それぞれの商圏を定め、他の同業者を排除したので大工職は代々続きました。

高木作右衛門と名乗るのは二代目光喜からでした。高木作右衛門家には永正九年(1513)九月藤原光吉より馬場村(現出町宮内町)の左衛門宛に、八幡宮の一部、馬場村興隆寺のなかの四ヶ堂主、多賀村、荒籠村、一井村、鷹飼村、金田庄の内若宮殿、金剛寺、かや堂、土田の一部の大工権を譲渡した証文がありました。光吉、光喜、光吉、光連、光視、光幹、光規、光矩、光一、光義、光直、と約四百年近く大工職を継承しました。その間、弘治二年(1556)に八幡神社本殿と下の八幡神社拜殿を造営し、天正六年(1578)には上の八幡神社(八幡山大平にあり)の拜殿を造り、同十七年には一日壊れたと思われ上の八幡神社を秀次によって再建しました。文禄二年(1593)には京極高次が八幡神社の本殿と神輿を修理させており、また、慶長六年(1601)八、九月には代官間宮彦次郎が拜殿、楼門を、翌年には神輿仮屋を修理しています。慶長十七年(1612)には代官権太三郎以下十三カ村の氏子、町民に寄進によって、高木兵衛が鐘及び鐘樓を建設しています。元和二年(1616)に日置清順が八幡神社の鳥居の材木を寄進した時には、氏子の奉加を以て、高木作右衛門がこれを作りました。その他顕著なものは元禄七年、享保九年及び同十九年の西別院の建造改築、徳川期の安土浄厳院の諸造作、大坂の東御堂の建立、元文二年(1737)の日野町信楽院本堂、宝暦二年(1752)の甲賀郡矢川神社、同五年神崎郡金堂の弘誓寺の建造、安永四年(1775)の伊勢一身田専修寺の建立等が主たるもので、明治時代にも多くの優れた建築を残しています。中でも特筆すべきは、寛永年間(1624)に京都東寺の五重塔を作右衛門光喜が建立したことです。『法令雑録』には「東寺五重塔、寛永十八年二月より正保元年七月迄御造営」とあり、二年七月の長期を要して竣工しています。諸人用高(建築費)九百七十貫六百四十二匁六分(銀)とあり、現在の価格に換算すれば、数十億円になると考えられます。『蒲生郡史』には、寛永十二年十一月、京都大工頭中井五郎助が、江州大工頭高木作右衛門に令を伝えたことが記されています。命を受け、近江国中の主な大工職を集めて、この一生の大事業に取り組んだことでしょう。また、高木家には東寺塔設計図などが伝わっています。

五百年の長きにわたり続いた歴代の名工高木家も、時代の変遷によって明治中期以降、次第に衰運に向かい、しかし、歴代高木家の残した工匠の技は、今も各地に散在しその優れた技術は貴重な文化財として高く評価されています。

※宮大工十四代目高木敏雄氏の「我が先祖を語る」から一部抜粋しています。

◆ クイズ

高木作右衛門は多くの神社仏閣を建設していますが、二年七月の長期を要して竣工した京都〇〇五重塔が有名です。何と申すお寺でしょうか。

抽選で5名様にSHINMACHIの「クーポン」をプレゼントします。

◆ ご応募の方は、お名前・郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、官製はがき又はFAXにて応募下さい。

応募期間 5月10日 必着 ※当選者の発表は、発送をもって代させていただきます。

〒520-0837 近江八幡市大杉町30の1 ほのぼの館 クイズ係 FAX 0748-322-3514

※参考文獻 近江八幡人物伝 近江八幡町土史会刊



賀茂神社

午後1時より賀茂祭 齋行

足伏走馬

午後3時頃 足伏走馬 神事

滋賀県近江八幡市加茂町1691
賀茂神社社務所 0748(33)0123
HP <http://kamo-jinja.or.jp>

大祭五月六日(日)午後一時斉行

古式による正式な形の競馬行事として、全国に二箇所しか行われていない、歴史的にも文化的にも貴重な行事です。天智天皇が当地を全国初の国営牧場に選定し、天平八年に神社が創建された頃より競馬が行われていました。平安時代に宮中武徳殿前庭で行われていた「競馬会」を当社にて継承して行われており、現在の競馬が確率されたのもこの行事が原型と言われています。

日本最古の国営牧場建設地であり、馬の聖地とも言われる賀茂神社でこの行事が行われているのは非常に意義のあることです。賀茂神社は、日本の災厄を封じる為、日本再生の為、聖武天皇の勅命にて創建され、現在全国各地より導きの神様として崇敬されるほか、縁結・子授・安産の守護としても、ご縁を結ぶ商売繁盛、病氣平癒の神様としても、交通安全の神様としても崇敬されている神社です。

市立資料館4月23日(月)リニューアルオープンしました。

正面ヴォーリス建築の内装が一新しました。

コワーキングスペースが新設しました。

野外イベントスペースが出来ました。
café & shop SHINMACHI が隣接しています

八幡商家に伝わる 端午の節句飾り

4月21日(土)～5月27日(日)

近江八幡市立資料館

(郷土資料館・歴史民俗資料館・旧西川家住宅)



お誕生日・記念日 花束プレゼント (5月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 5名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

* パリ凱旋・傘寿記念 与 勇輝展 創作人形の軌跡

京都高島屋7階グランドホール 5月7日迄 50名様

* 永遠の少年、ラルティーク 写真は魔法だ!

細見美術館 6月3日迄 30名様

* 2018年春季特別展 猿学と面

大和・近江および白山の周辺から MIHO MUSEUM 6月3日迄 30名様

* お釈迦さんワールド 龍谷大学 龍谷ミュージアム 6月17日迄 20名様

* 熊倉順吉の陶芸 ×21世紀の陶芸家たち展

滋賀県立陶芸の森陶芸館 6月17日迄 30名様

* 京都新聞社 2018 プロ野球手帳 20名様

* 京都新聞社 地名ものがたり スクラップブック帳 20名様

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品一品をご記入の上、官製はがき又は FAX で下記販売所まで、ご応募下さい。抽選でお送りします。

締切

花束

4月30日迄

▶ 当選者の発表は発送をもって代えさせて

洗剤、チケット等

5月5日迄

頂きます。予めご了承ください。

〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

café & shop
SHINMACHI
OPEN

珈琲&お土産 新町
是非いっぷく
にお立ち寄り
ください。

近江八幡市立資料館内 café & shop SHINMACHI
文化伝承館(左義長会館)元新町警察署横よりお入りください!

近江八幡100%味わえます!

葷(ヨシ)のシフォンケーキがおすすめです



喫茶コーナーで
ゆったりとお過ごしください!

〒523-0871 滋賀県近江八幡市新町2丁目 資料館内
カフェ&ショップ 新町 (Chief▶090-6247-0831)
ギャラリースペース新町浜の姉妹店です

営業時間: 10:00~16:00
定休日: 月曜日(観光シーズンは不定休)



日本一『遅い』乗り物
約30分1000円(税別)

TEL 0748-36-5115 U R L http://www.shinmachiama.com
E-mail storekeeper@shinmachiama.com